

市町村名		宜野座村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、球場やグラウンド黒土搬入等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		9,783	9,783	9,588	12,639	51,370
			9,783	9,783	9,588	12,639	51,370
			0	0	0	0	0
			9,783	9,783	9,588	12,639	51,370
	B. 執行済額		9,611	9,272	9,410	12,571	49,617
		うち交付金充当額	7,688	7,417	7,527	10,056	39,693
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.2%	94.8%	98.1%	99.5%	96.6%
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施したので適正であったと考えている。 不用額については委託費や備品購入費の入札残や人件費の残、消耗品数量の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、テント等設置	目標	仮設ブルベン防球ネット(エアアーチ)パワーテント等設置	仮設ブルベン防球ネット(エアアーチ)パワーテント等設置	防球ネット(エアアーチ)テント等設置	防球ネット(エアアーチ)テント等設置	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
	・野球場、総合グラウンド黒土搬入	目標	野球場、総合グラウンド黒土搬入	野球場、総合グラウンド黒土搬入	野球場、総合グラウンド黒土搬入	野球場、総合グラウンド黒土搬入	
		実績	野球場、総合グラウンド黒土搬入完了	野球場、総合グラウンド黒土搬入完了	野球場、総合グラウンド黒土搬入完了	野球場、総合グラウンド黒土搬入完了	
	・キャンプ会場の衛生管理	目標	()	(衛生管理)	(衛生管理)	(衛生管理)	
		実績		衛生管理実施	衛生管理実施	衛生管理実施	
	・阪神タイガース春季キャンプ会場改善工事	目標	()	()	()	野球場フェンス(野球場トイレ)改善工事	
		実績				改善完了	
達成状況説明	・選手及び見学者が安全・快適に練習・見学ができるよう、防球ネット、歓迎エアアーチ、歓迎のぼり、テント等を設置したほか、清掃員や警備スタッフ等を配置し、球場内外の整備を行った。 ・阪神タイガースの合同自主トレ、春季キャンプの環境整備を図る為、野球場・総合グラウンドの黒土入替を実施した。 ・選手が安心してキャンプに取り組めるよう、衛生品準備やインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策も実施したほか、キャンプ期間中だけでなく、年間を通し調整を行い、球団との関係を築いた。 ・一日2,000人の上限人数を設定して有観客でのキャンプ開催となった。 ・選手及び見学者が安全・快適に練習・見学ができるよう、野球場のフェンス及びトイレの改善工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	
	阪神春季キャンプ見学者数(人)	目標	()	(86,000人)	(87,000人)	(43,000人)	
		実績		80,800人	0人	8,900人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施しながら、上限人数2,000人の人数制限を設定して、有観客での阪神春季キャンプ開催となったが、見学者数の実績は目標値を達成することができなかった。感染対策は十分に行ったが沖縄県や全国各地に発令された蔓延防止重点措置の影響により観客の足取りが重くなったことが原因と考える。 当初から有観客での開催を想定していたため、感染症拡防止対策を取りながらの受入体制を構築していた。						

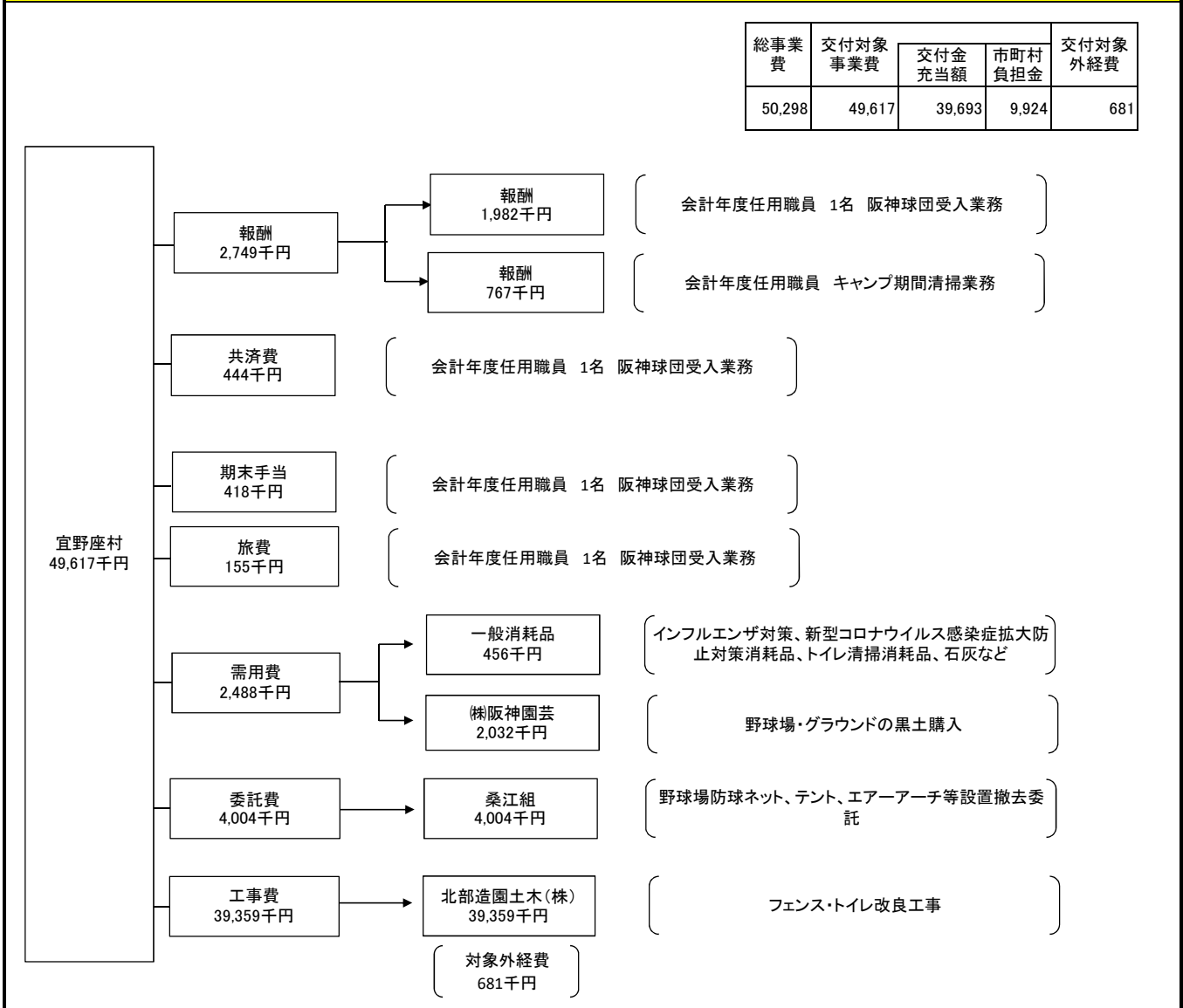
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、当初から有観客での開催を想定していたため、感染症対策を行いながらの受入体制を構築はできた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で観客の動員数は減っているが、新型コロナウイルス感染症の影響がでる以前は観客動員数は10万人を超えているため、阪神タイガース春季キャンプは本村でもっとも大きな観光資源となっている。今後もキャンプ地としての利用を継続してもらうため、球場整備や選手・ファンの安全確保、事故防止等に取り組む必要がある。</p>	<p>・感染症対策を行いながらの受入体制を構築はできたが、練習環境の整備やファンサービスの感染症対策を取りながらの実施方法等について検討する。</p> <p>・引き続き野球場等の黒土入れ替え、選手・ファンの動線管理、球場内外の警備や誘導員の配置、臨時駐車場の設置、シャトルバス運行を実施し、安全・快適なキャンプ場整備に努める。</p>

今後の取り組み方針

・感染予防として手洗いの徹底を呼びかけるほか、トイレや観客席、練習見学場所、手洗い場等に消毒用アルコールを設置する。また、感染症対策を取るよう注意喚起も実施しながら、事前に球団と調整し、安心安全にサイン会やファンサービス等が実施できるよう対策を検討する。

・今後もキャンプ地利用を継続してもらうため、球場周辺施設整備や選手及びファンが安心安全・快適に利用できるよう受入体制を構築するほか、球団や村観光協会、村商工会と通年で連携を取り、村全体でキャンプ地として盛り上げるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、見積りを徴取して積算しており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興	
担当部署名	観光工商課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度 (年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	16000	65,000	30,000	29,988	29,988
	(b) 予算現額	16000	65,000	29,934	25,188	29,988	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 66	▲ 4,800	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	16,000	65,000	29,934	25,188	29,988	
	B. 執行済額	16000	65000	29934	25,173	29,978	
	うち交付金充当額	12800	52000	23947	20,138	23,982	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	
予算の状況の説明	計画していた事業内容はほとんど実施できたため適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(がらまんホール公演) 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催する。(14回以上)	目標	(30回)	(17回)	(7回)	(14回)	
		実績	30回	18回	7回	14回	
	(お出かけ公演) 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を行う。(4回以上)	目標	(20回)	(11回)	(6回)	(4回)	
	実績	20回	17回	3回	4回		
(事業アーカイブ及び映像制作配信) 過去に開催した事業の写真や映像等の動画配信を行う(4項目)	目標	(-)	(-)	(-)	(4項目)		
	実績	-	-	-	4項目		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> がらまんホール公演については、コロナ禍の状況を踏まえ収容人数を半分に制限し、創作演劇やコンサート、伝統芸能など、観客が密にならず新しい生活様式に即した芸術文化・伝統芸能公演を計14回実施した。 お出かけ公演については、「伊芸銀勇物語」学校公演、AR表現(拡張現実)体感ワークショップ、歌三線のミニコンサートなど、計4回の活動を実施した。 事業アーカイブ及び映像制作配信については、過去に開催した事業の写真や映像、本年度に開催したイベントの動画等を4項目制作し配信した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①芸術文化・伝統芸能公演の集客数	目標	()	(2,520名)	(1,038名)	(2,646名)	()
		実績		7,119名	1,745名	925名	
	②お出かけ公演対象者数	目標	()	(5,250名)	(2,625名)	(2,756名)	()
		実績		4,624名	583名	329名	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ①芸術文化・伝統芸能公演については、当初予定していたや沖縄芝居公演や文化フェスティバルなどの事業が映像配信に変更になったため、目標値を半数以上下回る結果となった。 ②お出かけ公演については、多くの来場者を見込んでいた宜野座村まつり公演がなくなったため、目標値を下回る結果となった。 						

市町村名		宜野座村										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-③ 宜野座村着地型観光誘客推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ							
	担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興						
事業内容		宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通したイベントの開催、観光関連人材の育成等を行う。										
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a) 当初予算額	35,000	49,759	49,650	73,372	66,285					
	(b) 予算現額	37,160	48,387	47,834	71,736	65,328						
	(c) 増減額(b-a)	2,160	▲1,372	▲1,816	▲1,636	▲957						
	(d) 繰越額											
	A. 計(b+d)	37,160	48,387	47,834	71,736	56,924						
	B. 執行済額	37,160	48,387	47,834	71,736	56,924						
	うち交付金充当額	29,728	38,710	38,267	57,388	45,538						
	次年度繰越額											
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%						
予算の状況の説明	当初予定していた事業の一部を新型コロナウイルス感染症の影響により変更(関西圏プロモーション活動の一部中止及び変更、関東圏プロモーション活動の一部中止、イベント事業の一部変更)により、事業費9,361千円を減額した。事業内容は、計画通り実施し適正であったと考える。											
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度						
	観光誘客プロモーション活動の実施(関西地域、関東地域、沖縄県内、団体誘致等)		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)					
			実績	実施	実施	実施	実施なし					
	・観光プログラムの開発事業の実施		目標	()	(実施)	(実施)	(実施)					
			実績		実施	実施	実施					
	・観光人材育成事業の実施		目標	()	(実施)	(実施)	(実施)					
			実績		実施	実施なし	実施					
	年間を通したイベントの開催(3回)(村内)		目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)					
			実績	3回	3回	3回	3回					
外部専門家(アドバイザー)招聘によるSNSなどの活用による情報発信の検証と発信技術の向上を図る。		目標	(外部専門家事業)	(外部専門家事業)	(外部専門家事業)	(外部専門家事業)						
		実績	情報発信力強化に向けた取り組みを実施	情報発信力強化に向けた取り組みを実施	情報発信力強化に向けた取り組みを実施	情報発信力強化に向けた取り組みを実施						
達成状況説明	観光誘客プロモーション活動のうち県外プロモーションは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催できず中止となったが、都内での広告宣伝や甲子園球場内へ広告掲載を行うプロモーションに切替えて活動を行った。イベント等については、村内を周遊できる仕組みを作りつつ、沖縄県のガイドラインに沿った形で対策を行い実施した。外部専門家事業については、発信力の助言を継続しつつ、新たに着地型の商品造成に着手し、今後の展開につながる取り組みを行った。											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)					
	宜野座村の観光入客数(12万人)		目標	()	(24.5万人)	(25万人)	(12万人)	()				
			実績		24万人	14.5万人	13.7万人					
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()				
			実績									
令和3年度の観光入客数は13.6万人とコロナ禍で修正した目標値を達成することができた。しかしながら、昨年度数値より下回り未だ新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けている状況である。												

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、イベントの中止やプロモーション活動の変更など対策を行いながら実施ができた。 また、各事業の連動を意識し、地域の観光従事者が関わることのできるような計画をたて事業の執行に努めた。</p>	<p>・今後も、コロナ禍でも取り組める誘客活動やプロモーション活動の継続する。 ・観光情報発信やラジオ・動画配信の強化に取り組む。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後も有効的にプロモーションを計画・実施しながら、埋もれている観光資源の発掘を行い、地域観光地づくり・滞在型観光地づくりに取り組んでいく。 また、観光従事者に対し、資質向上研修を行い更なる受け入れ体制の構築に努める。</p>		

資金の流れ																
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付金</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>充当額</th> <th>市町村負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56,924</td> <td>56,924</td> <td>45,538</td> <td>11,386</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	56,924	56,924	45,538	11,386	0
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費												
		充当額	市町村負担金													
56,924	56,924	45,538	11,386	0												
	<p>宜野座村 56,924千円</p>	<p>委託料 56,924千円</p>	<p>宜野座村観光協会 56,924千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客プロモーション事業 ・観光プログラム開発実施事業 ・観光人材育成事業 ・イベント事業 ・外部専門家活動事業 												
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<p>・委託事業者は、本村に特化した観光振興を担う事業所となっており、その目的及び成果達成に向けて委託先の選定は妥当であったと考える。 ・事業額について、当初の目的に沿って遂行したため、適正な規模であったと考える。 ・使途については、事業目的達成の観点から内容を確認し、適切であった。</p>												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	宜野座村							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	宜野座村美ら島花火大会事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力発信することにより観光誘客を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,504	6,504	6,504	0	7,228	
		(b) 予算現額	5,960	6,504	6,504	0	7,228	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 544	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	5,960	6,504	6,504	0	7,228	
	B. 執行済額		5,960	6,130	6,370	0	6,459	
	うち交付金充当額		4,767	4,904	5,095	0	5,167	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.2%	97.9%	#DIV/0!	89.4%	
予算の状況の説明		コロナ禍の状況を鑑み、花火打上場所を3カ所に分散させオンラインで花火等の動画配信する手法に切り替えて実施したため、会場設営費等の経費が不要となったことに伴い、当初の計画額よりも減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	花火の打上	目標	(1,000発)	(実施)	(-)	(実施)		
		実績	1,000発	実施(1,000発)	-	実施(750発)		
	ステージイベント(伝統芸能等)	目標	(-)	(実施)	-	-		
		実績	-	実施(15団体)	-	-		
	PRチラシの作成	目標	(35,000枚)	(作成)	-	-		
		実績	36,000枚	作成(37,500枚)	-	-		
	警備員の配置	目標	(16名)	(配置)	(-)	(配置)		
		実績	16名	配置(10名)	-	配置(16名)		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・宜野座村美ら島花火大会は、10月から12月に開催を延期し、花火750発(250発×3カ所)の打ち上げを実施した。 ・警備員については、花火の打ち上げ場所が増えたことにより、事業者と協議の上、安全確保できる人員の配置を行った。 ・宜野座村美ら島花火大会当日の動画生配信や村の観光コンテンツを紹介するプロモーション動画を制作し、SNS等で配信した。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
			目標	()	(10,000人)	(-)	(11,200人)	()
	美ら島花火大会集客数(11,200人/2日間)		実績		13,600人	-	562人	
進捗状況説明	緊急事態宣言の延長等により、当初で計画していた観客動員型の花火大会の開催が困難になったことに伴い、目標値は達成できなかった。観覧者の密を回避するため、SNSを活用しながら村内3カ所から同時に花火を打ち上げことで、通常とは異なる演出をつくることで、宜野座村の魅力発信に繋げることができた。(村観光協会Youtubeチャンネルで配信した本事業の動画再生回数は約1,000回となっている。(R4年3月末時点))							

市町村名	宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	農村沿道景観向上事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和元年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	魅力的な自然環境観光地を形成するため、リゾート観光客の散策路(農道)の美化に努める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,974	5,222	5,222	5,222	5,222
			2,974	5,222	5,222	5,222	5,222
			0	0	0	0	0
			0	0	0		
			2,974	5,222	5,222	5,222	5,222
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		2,974	5,222	5,222	5,222	5,222
			2,379	4,177	4,177	4,177	4,177
			0	0	0		
			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容は予定通り実施しており、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	美化作業員配置3名	目標	(2名)	(3名)	(3名)	()	
		実績	2名	3名	3名		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	委託先である土地改良区が作業員3名を配置し、年間を通じて散策コース5ルートの草刈り及び伐採作業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	安全で快適な散策ができたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		未実施	80%	82%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本事業開始前に年間10件ほど寄せられていた苦情が、令和3年度を含めて事業開始後3年間0件であったことから効果があったと考えられる。 また、アンケートにおいては、令和2年度に引き続きコロナ渦が継続している中ではあるがアンケートを実施した。結果、82%の方に沿道の景観が「とてもきれい」との評価をいただいた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> これまで宿泊施設周辺付近の農道・沿道においては雑草等が茂り景観が損なわれていたが、年間をとおして草刈り・伐採作業を実施することで観光地の景観形成が図られ、令和3年度の苦情件数は0件であった。 令和3年度も令和2年度に引き続き、年度を通してコロナ渦という特殊な状況の中、観光客が激減しており成果を確認することが困難な状況となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの制限解除に備え引き続き事業を実施する必要があるが、昨年度からのコロナによる社会情勢を鑑みると、この状況の中では改善余地の検証が困難な状況である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> コロナの制限解除に向け、引き続き事業を実施していく。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,222	5,222	4,177	1,045	0
<pre> graph LR A[宜野座村 5,222千円] --> B[委託料 5,222千円] B --> C[宜野座村土地改良区 5,222千円] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先の宜野座村土地改良区は、本村の土地改良施設の管理に携わっている団体であるため、その目的、成果達成に向けて委託先の選定は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・事業額について、当初の目的に沿って遂行したため、適正な規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・用途については、事業目的達成の観点から内容を確認し、適切であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	小学校学力向上対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3		
事業内容	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,360	15,360	15,399	25,089	28,780
			13,440	13,218	13,493	17,088	28,780
			▲ 1,920	▲ 2,142	▲ 1,906	▲ 8,001	0
			0	0	0	0	0
			13,440	13,218	13,493	17,088	28,780
	B. 執行済額		13440	13166	12304	14662	26466
	うち交付金充当額		10752	10533	9843	11,729	21,172
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.6%	91.2%	85.8%	92.0%
予算の状況の説明		当初8名の支援員の配置を業務委託していたが、事業当開始時、1名採用ができない期間等が生じ不用額がでた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員配置数等 松田小学校 2名 宜野座小学校 4名 漢那小学校 2名		目標 (8名)	(8名)	松田小2名 宜野座小4名 漢那小2名	松田小2名 宜野座小4名 漢那小2名	
			実績	7名	8名	松田小1名 宜野座小2名 漢那小2名	
	【参考指標】支援児童数		目標 (492名)	(520名)	(493名)	(495名)	
			実績	499名	511名	497名	509名
達成状況説明		当初は学習支援を8名配置できなかったが、年度途中に8名配置し小学校生と509名に対し教諭と連携をとりながら学習支援を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ・小学校3年、4年、5年、6年(数学)		目標 ()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
			実績	3年数学(-4.8) 4年数学(-5.0) 5年数学(-2.0) 6年数学(3.1)	5年数学(-1.7) 6年数学(3.5)	5年数学(-4.2) 6年数学(-6.3)	
	【参考指標】		目標 ()	(520名)	(493名)	(495名)	()
			実績	511名	497名	509名	
	進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査の結果から、小学校5年生及び小学校6年生の数学において県平均を上回ることができず、目標は未達成となった。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○沖縄県学力達成度調査において小学校5年と6年において県平均を上回ることができなかった。</p> <p>○県平均を上回ることができなかった原因は、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で出席停止の児童が増加し、さらに学級閉鎖等で対面による学習が困難となり、ICT(端末)を活用したオンライン授業を行ったが、対面による児童に寄り添ったきめ細かな支援を行う時間も少ない状況だった。結果的に、記述式の問題に無回答率が高く県平均を上回ることができなかった。</p>	<p>・沖縄県学力達成度調査結果の分析を行い課題等を把握し、補習授業や個別支援などを行い基礎・基本的な学力の定着を図り学力向上に結び付ける</p> <p>・放課後補習や長期休業中の学習支援を設けるなど学習支援の強化することで、学ぶ意欲を高め、学力の基礎・基本の定着を図る。</p> <p>・教師及び支援員の情報交換を密に行い、授業改善などに取り組む</p> <p>・漢字検定や数学検定など各種検定試験への取組を推奨し、学習意欲の向上や達成感につなげる</p>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習や長期休業中の学習支援を設けるなど強化することで、各学年で身につけるべき学習内容の定着させるよう取り組む。 ・定期的に学習支援員に対する研修を行い、各学校における取組などを情報共有することで指導員のスキル向上を図る ・定期的に担当教師との情報交換を行い授業改善を図りながら個別指導や補習授業を通じて学力向上を図る。 ・漢字検定等の各種検定試験への資格取得を推奨し、学習意欲向上や達成感を醸成させ、学力向上に繋げる。 ・無回答率の高い問題の分析を行い、個々の課題把握に取り組む 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	27,428	26,466	21,172	5,294	962
<pre> graph LR A[宜野座村 26,466千円] --> B[委託料 26,466千円] B --> C[一般社団法人教育振興会 26,466千円] C --- D["※学習指導員配置(8名) 松田小 2名 宜野座小 4名 漢那小 1名"] C --- E["対象外経費 962千円"] </pre>					

資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者をプロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、人件費及び管理費等を考慮した結果、適正であると考えている
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○生徒の学力向上を目的として支援員の配置しているため、目的に即し必要だと判断した。委託料の支払いについては、出勤簿等を確認の上行っている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	中学校学力向上対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3		
事業内容	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,640	14,640	14,640	15,681	17,987
		(b) 予算現額	12,151	14,640	14,770	12,681	17,987
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,489	0	130	▲ 3,000	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	12,151	14,640	14,770	12,681	17,987
	B. 執行済額		12151	13343	11343	11,738	15,447
	うち交付金充当額		9720	10674	9074	9,390	12,357
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	91.1%	76.8%	92.6%	85.9%
予算の状況の説明		当初6名の支援員の配置を業務委託していたが、事業当開始時、2名採用ができない期間等が生じ不用額がでた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員配置数等 宜野座中学校 5名 (英語、国語、数学、理科、社会各教科1名)		目標 (5名)	(5名)	(5名)	(5名)	
			実績	5名	4名	5名	
	【参考指標】 支援生徒数		目標 (206名)	(233名)	(232名)	(232名)	
			実績	208名	234名	241名	
達成状況説明		当初は学習支援を5名配置できなかったが、年度途中に5名配置し中学校生と241名に対し教諭と連携をとりながら学習支援を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ・中学校2年生(国語、数学、英語)		目標 ()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
			実績	中2国語(-0.4) 中2数学(-1.7) 中2英語(0.6) 中2理科(15.4)	中2国語(-3.3) 中2数学(-7.8) 中2英語(-6.0)	中2国語(-0.9) 中2数学(-2.8) 中2英語(-1.6)	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査の結果、中学校2年生国語、数学、英語の全てにおいて県平均を上回ることができず、目標は未達成となった。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担当と連携しながら生徒の学力に応じた学習支援を行うことで学力向上に取り組んだ ・国語、数学、英語の全ての教科で県平均を下回っているため、全体の支援内容の強化を図る必要がある ・教室に入れない(保健室登校等)生徒への個別の支援態勢づくり <p>県平均を上回ることができなかった原因について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県学力到達度調査結果の分析を行い課題等を把握し、補習授業や個別支援などを行い基礎学力の定着を図り学力向上に結び付ける ・放課後補習や長期休業(サマースクール)の学習支援を強化することで、学ぶ意欲を高め、学力の基礎・基本の定着を図る。 ・教科担当と連携しながら、ICT機器を活用した授業を行うなど生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る。 ・漢字検定や数学検定など各種検定試験への取組を推奨し、放課後等の補習で試験対策を行い、合格率の向上や上級へのチャレンジなど向上や達成感につなげる
	<p>県平均を上回ることができなかった原因は、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で出席停止の児童が増加し、さらに学級閉鎖等で対面による学習が困難となり、ICT(端末)を活用したオンライン授業を行ったが、対面による児童に寄り添ったきめ細かな支援を行う時間も少ない状況だった。結果的に、記述式の問題に無回答率が高く県平均を上回ることができなかった。</p>	
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・学力到達度調査などの書調査分析から定着状況を把握し、個別指導や補習授業などで個に応じた指導方法を工夫するなどして学力向上を図る。 ・授業中の支援や放課後の補習などについては事前に支援計画を立て、放課後補習や長期休業の学習支援(サマースクール)を強化することで、学ぶ意欲を高め、学力の基礎・基本の養成・定着を図る。 ・漢字検定等の各種検定試験への資格取得を推奨し、学習意欲向上や達成感を醸成させ、学力向上に繋げる。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	16,148	15,447	12,357	3,090	701
<pre> graph LR A[宜野座村 15,447千円] --> B[委託料 15,447千円] B --> C[一般社団法人教育振興会 15,447千円] C --- D[対象外経費 701千円] E[※習熟度別学習支援配置(5名) (英語、国語、数学、理科、社会)] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者をプロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、人件費および管理費等を考慮し判断した結果、適正であると考えている
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○生徒の学力向上を目的として支援員を配置しているため、目的に即し、必要だと判断した。委託料の支払いは出勤簿等を確認の上行っている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—2—(2)—イ	
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ—4	
事業内容	保護者が就業中も安心・安全に子どもを預けることができる場を提供し、育児における負担感の軽減を図るため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	7,360	7,360	11,550	14,233	15,108
		(b) 予算現額	6,248	9,080	11,550	11,942	15,108
		(c) 増減額(b-a)	▲1,112	1,720	0	▲2,291	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	6,248	9,080	11,550	11,942	15,108
		B. 執行済額	6,248	8,488	10,474	11,942	13,076
		うち交付金充当額	4,998	6,790	7,920	9,553	10,460
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	93.5%	90.7%	100.0%	86.6%
予算の状況の説明		・預かり保育担当者の無給休暇取得により、22千円を減額した。 ・預かり保育担当者を配置できなかった期間があったため、2,010千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	預かり保育担当職員配置数 ・松田幼稚園 2名 ・宜野座幼稚園 3名 ・漢那幼稚園 2名	目標	(6名)	(名) 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 2名	(名) 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 3名	(名) 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 2名	
		実績	6名	名 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 2名	名 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 3名	名 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 2名	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明		・預かり保育担当者6名を雇用し、松田幼稚園2名、宜野座幼稚園2名、漢那幼稚園2名を配置した。 ・担当者を6名配置できたことで、園児の安全確保や保育サービスの充実につながり、預かり保育を希望する70世帯全員を受け入れることができたため、受入率100%を達成できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	安心・安全に子どもを預けることがで、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%)を含め、対象となる幼児の保護者へのアンケートを行い、事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		・対象となる園児の保護者に対してアンケートを実施したところ、安心・安全に子どもを預けることができ、育児の負担感が軽減されたと回答した世帯の割合は100%となり目標を達成した。 ・通園する園児の世帯の内、約9割が共働き家庭で午後も就労しているため、担当者6名を配置できたことで、保護者への午後の預かり先を提供でき、子育て世代の多様化するニーズに応えることができた。					

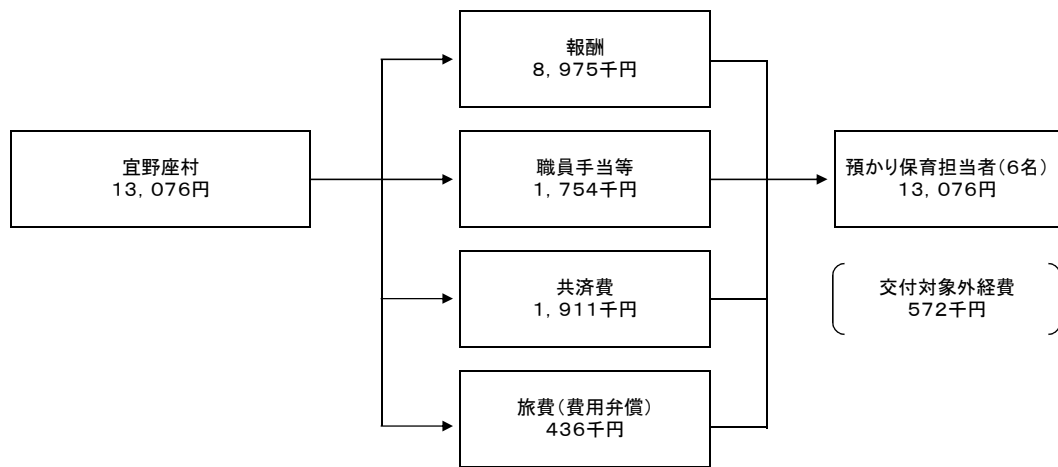
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 各園に預かり保育担当者を配置できたことで、園児の安全を確保しながら保護者と園児への柔軟な対応が可能となった。 園毎で利用者数や地域性に差異があるため、実態に応じた柔軟なサービスの提供が必要である。 担当者ごとに保育観が大きく異なっていたが、研修を重ねることで保育観のばらつきが少なくなった。 研修の充実により園児や保護者への対応に余裕が生まれ、研修に前向きな姿勢がみられるようになった。 家庭の事情や本人の特性により、配慮が必要と思われる園児がいる。 コロナ禍に伴い、校務支援システムを導入したところ、職員や保護者との連携がスムーズに行われるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じた効果的なサービスを提供するため、専門家を招いた研修の充実を図る。 配慮が必要な園児を観察し、幼稚園教諭へ報告・連絡・相談することで、小学校就学に向けた連携を引き続き行う。 校務支援システムをフル活用するために、現在手作業行っている事務等をシステム化する。 教育課程の時間に勤務する職員と更なる連携を図る。

今後の取り組み方針

- ・実態に応じた効果的なサービスを提供するため、引き続き講師を招聘し、実際の保育の様子を見ながら研修を実施する。(年1回程度)
- ・充実したサービスを提供できるよう、引き続き担当者それぞれの困り感や日頃の保育内容を共有できる場を定期的に提供する。
- ・引き続き小学校就学に向けた連携として、配慮が必要と思われる園児の様子を幼稚園教諭や他職員と共有する。
- ・校務支援システムを効果的に活用するための事務改善やシステムの勉強会等を開催する。
- ・幼稚園教諭や他職員と連携するため、預かり保育担当者の役割を明確化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,648	13,076	10,460	2,616	572



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○担当者の雇用については、地方公務員法第22条の2第1項第1号に基づき雇用しており、妥当である。 ○担当者の配置数については、宜野座村幼稚園預かり保育に関する規則に基づき積算しており、適切な規模である。 ○費目、用途については、預かり保育に要するものであり、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	3-①		有機の里宜野座村確立事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ						
	担当部課名	産業振興課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)					
事業内容	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や、減化学肥料による環境保全型農業を推進する。											
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a)当初予算額	11,431	11,431	11,354	12,361	13,249	(b)予算現額	11,431	11,306	11,252	12,260
	(c)増減額(b-a)	0	▲125	▲102	▲101	0	(d)繰越額	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	11,431	11,306	11,252	12,260	13,249	B.執行済額	11,301	11,306	11,252	12,260	13,053
	うち交付金充当額	9,040	9,045	9,002	9,808	10,442	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	98.5%	予算の状況の説明	概ね計画どおりに事業を実施することができた。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況								
		目標	実績	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
				協議会・部会開催 アドバイザー招聘 専門技術員配置 消耗品購入	協議会・部会開催 アドバイザー招聘 専門技術員配置 消耗品購入	協議会・部会開催 アドバイザー招聘 専門技術員配置 消耗品購入	協議会・部会開催 アドバイザー招聘 専門技術員配置 消耗品購入					
		目標	実績	480回 130トン	480回 135トン	480回 116トン	480回 116トン					
①栽培指導回数(480回) ②生産販売目標(116t)				554回 101トン	561回 69トン	574回 78トン	581回 65トン					
達成状況説明												
<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術員(農業栽培指導員・土壌分析・肥料設計・エコファーマー認定指導員・販売販売戦略担当)を設置し営農指導及び販路の拡大に取り組んだ。 ・有機の里推進協議会を開催し、エコ農産物の生産販売拡大に向けた取り組みについて協議を行った。 ・有機の里推進協議会にアドバイザー(大学農学部において講師経験のあるもの)を招聘し、有機の里推進に向けたアドバイスを受けた。 ・農業栽培指導技術員により、農家に対し栽培指導(土づくり、害虫防除方法、台風対策等)を実施し安定した農産物の生産につなげた。 ・土壌分析・肥料設計・エコファーマー認定指導員により、エコファーマー認定取得のための技術指導や認定申請書作成の支援を行った。 ・販売戦略推進員が、大手スーパーや卸売業者と交渉し必要のある品目を把握するとともに販売先を確保した。また、農業栽培指導技術員と農家と連携して有望な栽培品目について生産体制を構築した。 ・エコファーマーの新規認定者を確保するために、認定取得時に販売袋用エコマークラベルを1農家当たり20,000枚給付することにより今年度の新規認定者数は0名ではあったが、既存の認定者に60,000枚の給付を行った。 ・農業栽培指導技術員による有機農法及びエコファーマー認定の栽培指導回数の目標480回に対して、581回の指導を行うことが出来た。しかし、新型コロナウイルスの影響で、島ラッキョウ・赤モウワイ・かぼちゃ・パインの注文が大幅に減少したことなどから販売目標の116トンを下回る65トンという結果となった。 												
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)					
	【参考指標】 エコファーマーの認定者数	目標	()	(3名)	(3名)	(3名)	()					
		実績		2名	7名	0名						
	エコ農産物販売目標	目標	()	(135トン)	(116トン)	(116トン)	()					
		実績		69トン	78トン	65トン						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新規のエコファーマーの認定者は0名であり、目標の3名を達成することができなかった。 ・エコ農産物販売量については、前年度よりは13トン減少し目標の116トンに届かなかった。 											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(エコファーマーの認定者数) ・エコファーマー認証について3人の新規認定取得を目標とし、認定希望者や新規就農者等に認定取得の呼びかけをしたが、希望者は0名であった。	(エコファーマーの認定者数) ・エコファーマー認定者数は令和3年度までに30名を目標としていたが、平成24年度から令和3年度までの実績は41名となっており、目標を達成している。今年度は継続して認定取得者を確保していきたい。
	(エコ農産物販売量) ・長雨や暖冬、新型コロナの影響により農産物販売量は65トンとなり約56%の達成率となった。特定の作物のみを生産している場合、天候等に異常が生じると多くの作物が収穫できず、生産量が極端に落ち込むことがある。	(エコ農産物販売量) ・夏野菜の品目を増やした結果、パパイア、冬瓜、ヘチマ、モーイは安定した収穫量で目標を達成している。 引き続き、天候等環境要因の影響を受けにくい夏野菜品目を増やし、安定的な販売量の確保に取り組む。

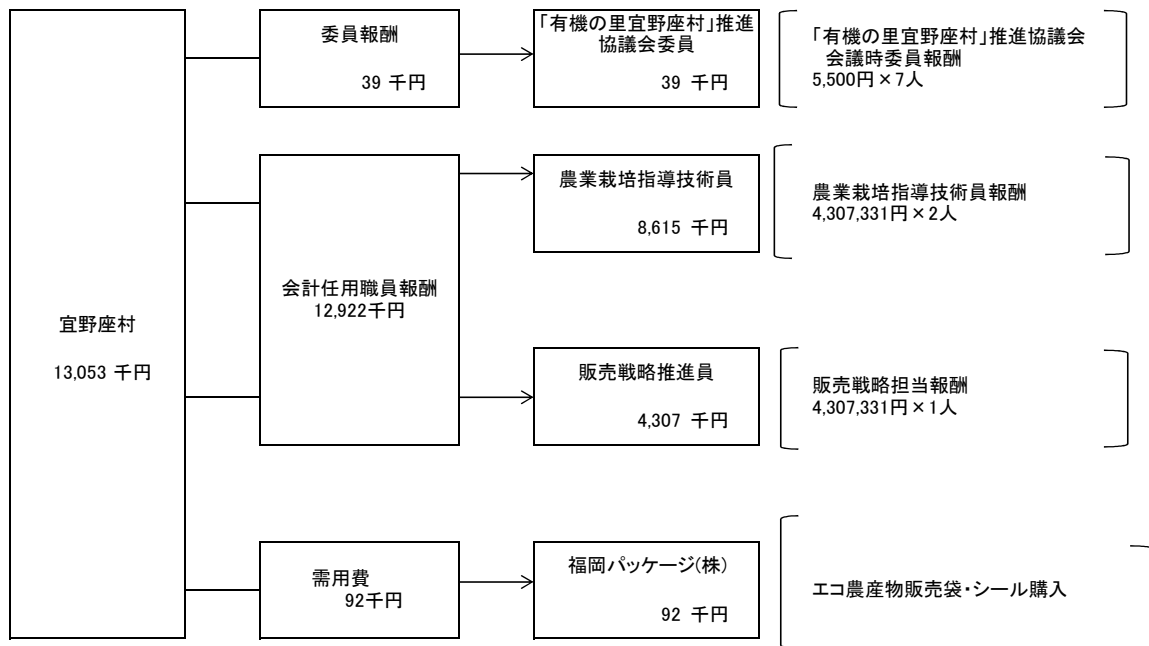
今後の取り組み方針

(エコファーマーの認定者数)
・販売戦略担当が村の特産品加工直売センターに出向き、直売センターに出荷している生産農家にエコファーマー認証取得のメリットを周知し、認定取得希望者を募り栽培指導員と連携し、栽培指導と認定手続きの支援を行うことで認定取得につなげる。

(エコ農産物販売量)
・作物の種類については、取引先より需要のある作物の情報を得たうえで、試験的な栽培を行いながら、栽培環境が適していると判断した場合に生産拡大を行っていく。また、需要も踏まえ天候等環境要因の影響を受けにくい夏野菜の栽培を継続・検証しながら天候の影響が小さくなるよう、取り扱い品目を増やして安定的な販売量の確保に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

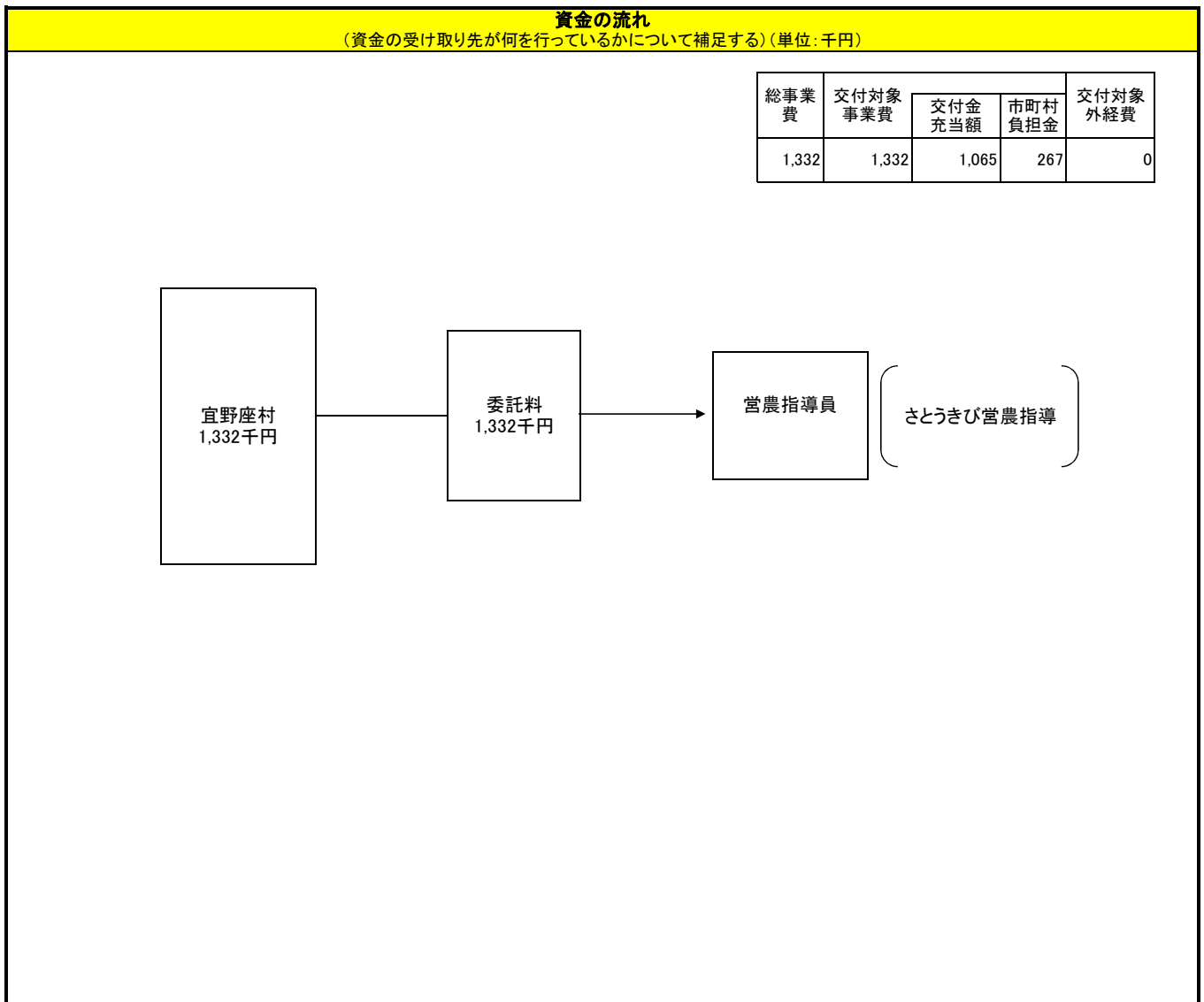
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,053	13,053	10,442	2,611	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○協議会委員の選定については、農業関係機関の代表や地域の代表、行政機関の代表など多方面からの意見を集約できるよう選定しており、会計任用職員についても、営農指導の経験豊富な者・農業関連の専門的知識を有する者・販路開拓の経験を有するものを選定していることから妥当であったと考える。エコファーマーラベル製作については見積を徴収し最低見積業者に発注しており、妥当であったと考える。 ○委員報酬・会計任用職員報酬・農業経営アドバイザーの報酬費の金額については宜野座村嘱託職員・報酬月額表に基づき積算しており、適正な規模であった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	さとうきび営農指導委託事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定等の強化	
事業内容	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業や営農指導を行う。また、担い手を確保し、講習会を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,584	1,320	1,323	1,332	1,332
		(b) 予算現額	1,281	1,320	1,323	1,332	1,332
		(c) 増減額(b-a)	▲ 303	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,281	1,320	1,323	1,332	1,332
	B. 執行済額		1281	1,320	1,323	1,332	1,332
	うち交付金充当額		1025	1,056	1,058	1,065	1,065
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は全て実施しており、適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	営農指導による管理作業の指導・担い手を確保し、営農指導や講習会を実施する。		目標 (1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
	・営農指導員配置1名		実績 1名	1名	1名	1名	
			目標 ()	()	()	()	
達成状況説明		営農指導員1名を配置し、栽培農家135名(延べ388名)、新規栽培農家1名に対し指導を行った。営農指導は、農家や新規農家が積極的に栽培方法を聞いたり、会議にも参加し助言するなど、本村のさとうきび栽培に重要な役割を担っている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	令和3年生産量 5,224t以上		目標 ()	(5,264t)	(5,441t)	(5,084t)	()
			実績	4042t	4,976t	5,348t	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		令和3年度生産量の実績値は5,348tとなり、前年度より372t増収することができた。干ばつや台風等の影響も例年より少ないことや、農家一人ひとりに対して営農指導することにより病害虫の対策や肥培管理などの作業を効率よく行えた結果、今回北部地区では生産量1位になることができた。					

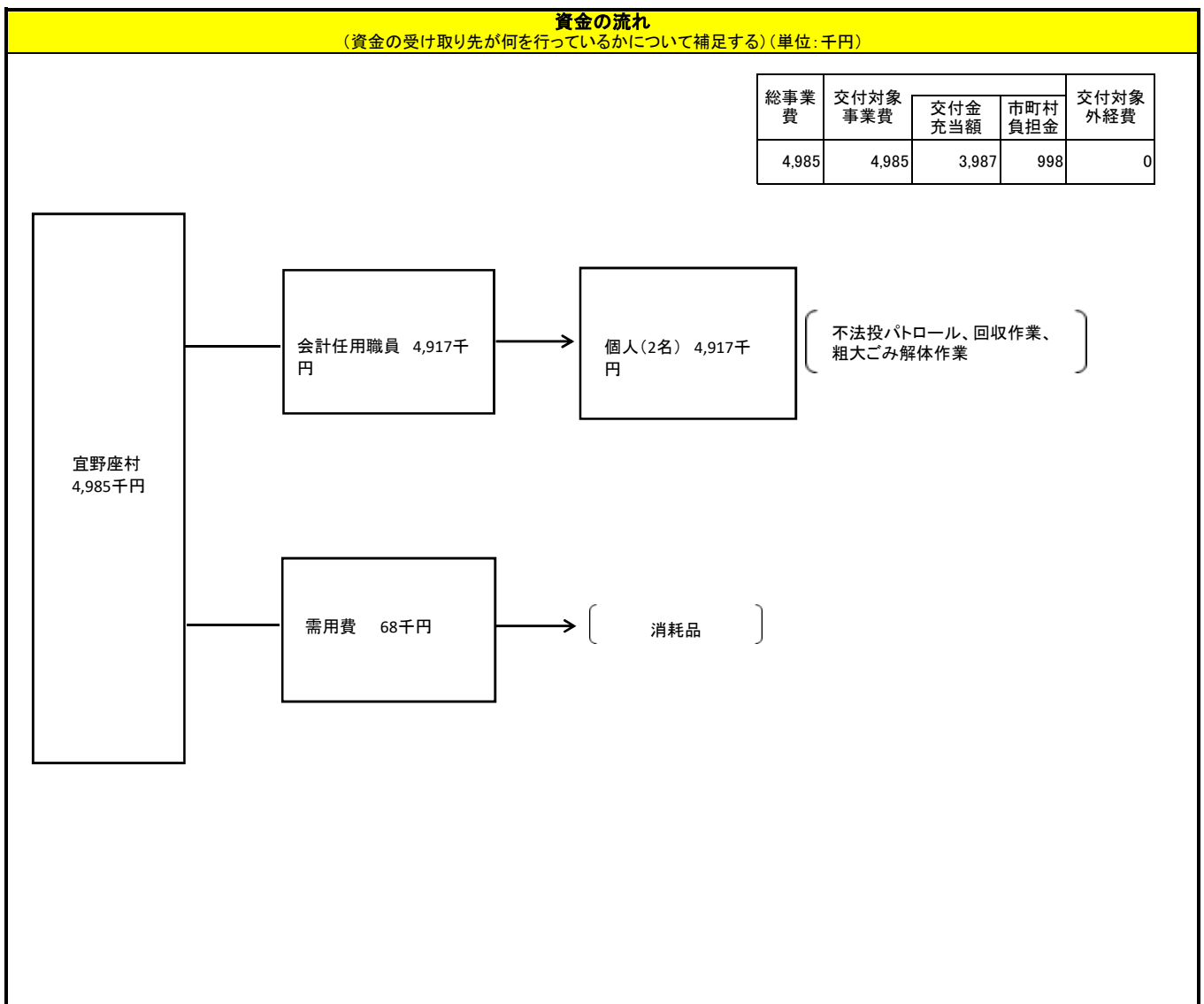
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>営農指導により、適期から作業が遅れる農家が少なくなったが、農業者の高齢化等で管理不足の圃場が見受けられるほか、離農・田作物転用により栽培面積が減少している。</p>	<p>高齢農家に対しては、営農指導員による指導を徹底する。肥培管理作業等の遅れがあるので、適宜管理を徹底させる。また、栽培面積減少の理由として田作物転作等があり、さとうきび農家の後継者育成の向上・生産の反収増を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>直近5年間の生産量はいずれも増産傾向にある。令和3年度の実産量は5,348tとなり、昨年より372t増収するなど営農指導の効果が着実に出てきている。令和4年度も適期管理作業等の指導を徹底し、さとうきび生産の反収増、担い手の育成・確保に取り組んでいく。</p>		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託者はさとうきび栽培の知識や経験が豊富である個人と随契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○宜野座村会計年度任用職員・報酬月額表及び賃金基準表を基に実施している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の決定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	観光景観向上対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ	
担当部課名	村民生活課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	観光地の景観向上を図るため、観光地に放置された不法投棄物の撤去を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,040	4,040	4,039	4,697	4,987
			3,923	4,050	4,005	4,650	4,987
			▲ 117	10	▲ 34	▲ 47	0
			0	0	0	0	0
			3,923	4,050	4,005	4,650	4,987
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		3,923	4,049	4,005	4,650	4,985
			3,138	3,231	3,204	3,719	3,987
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初予定した事業内容を計画通り実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	監視・作業員配置2名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去	目標	()	()	()	()	
		実績	パトロールの実施 不法投棄回収実施 粗大ゴミ解体実施	パトロールの実施 不法投棄回収実施 粗大ゴミ解体実施	パトロールの実施 不法投棄回収実施 粗大ゴミ解体実施	パトロールの実施 不法投棄回収実施 粗大ゴミ解体実施	パトロールの実施 不法投棄回収実施 粗大ゴミ解体実施 不法投棄防止看板の設置
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	監視・作業員配置2名を配置し、これまで不法投棄のあった場所の監視カメラによる監視、不法投棄防止看板の設置、観光ルートのパトロール、放置された不法投棄物の撤去を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・観光地における不法投棄の減少10件/年以内	目標	()	(10件/年)	(10件/年)	(10件/年)	()
		実績		0件/年	0件/年	0件/年	
	【参考指標】 ・観光地ルートの景観向上(観光客から宜野座村の自然環境や景観向上・美しさ等をアンケート調査し、事業成果をとりまとめる。):満足度%	目標	()	(70%)	(70%)	(70%)	()
		実績		93%	未実施	88%	
進捗状況説明	観光地における不法投棄件数は1年間で0件であり、目標値を達成した。また、達成状況の客観的確認として、観光施設でのアンケート調査を実施し、目標を達成した。						

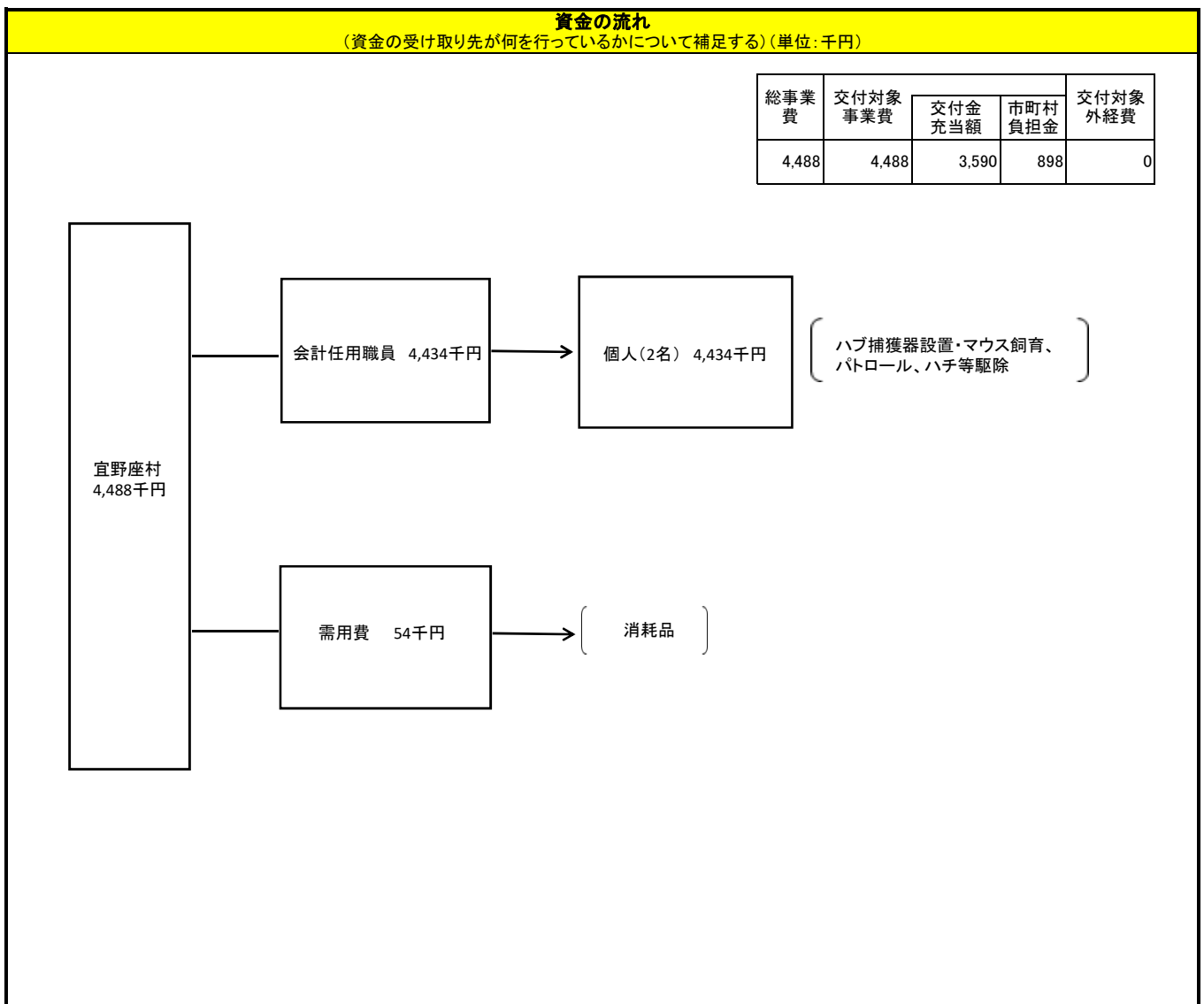
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>広大な自然環境を生かした着地型観光を推進する本村は、これまで自然景観を損ねる不法投棄物が多かったが、本事業の実施により、不法投棄が3年間(令和1~3年度)0件である。</p> <p>令和3年度は、監視カメラが届かない場所への不法投棄対策として、ダミーカメラ、注意喚起の看板の設置、パトロールの回数を増やした。</p>	<p>従来のパトロールのルート変更や時間帯を変える等改善を検討し、さらなる不法投棄の抑制を図る。</p> <p>また、区長さんや住民と連携を図り、不法投棄を見かけたらすぐに連絡するよう促し、村民全体で、不法投棄に対する意識啓発をおこなう。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>不法投棄パトロールのルート変更や時間帯を変動し、効率的に不法投棄を監視・抑制し、不法投棄の減少を図り、着地型観光の推進につなげる。また、村委嘱の環境監視員だけでなく、その他地域住民の協力を得て、村民みんなで不法投棄防止に対する意識を高めるよう連携を継続して図っていく。</p>		



資金の流し、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・監視・作業員は、村広報などにより応募し、村内の地形等を熟知している方を選定しており、妥当である。</p> <p>・予算規模は、村の予算編成資料(会計年度任用職員報酬月額表)により積算しており、適正な規模であったと考える。</p> <p>・費目・用途は事業目的に即しており、消耗品も必要最小限のもので、妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	危険生物駆除捕獲事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ	
担当部課名	村民生活課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	観光客や修学旅行生等の安全を確保することを目的とし、咬傷事故等を未然に防ぐため、捕獲器の設置や観光地のパトロールを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,750	3,750	3,749	4,277	4,512
		(b) 予算現額	3,570	3,750	3,637	4,217	4,512
		(c) 増減額(b-a)	▲180	0	▲112	▲60	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	3,570	3,750	3,637	4,217	4,512
	B. 執行済額		3,570	3,707	3,637	4,217	4,488
	うち交付金充当額		2,855	2,965	2,910	3,373	3,590
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	98.9%	100.0%	100.0%	99.5%
予算の状況の説明		ハブ捕獲機のメンテナンスが予定より少なかったため事業費を減額したが、当初予定した事業内容を計画通り実施できた					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光地パトロールの実施	目標	(12回/月)	(12回/月)	(12回/月)	(12回/月)	
		実績	12回/月	12回/月	12回/月	12回/月	
	ハブ捕獲器設置	目標	(150箇所)	(150箇所)	(150箇所)	(150箇所)	
		実績	200箇所	128箇所設置	140箇所設置	119箇所設置	
	ハチ等の捕獲・駆除体制の整備	目標	(捕獲・駆除0件) 専門員2人の配置	(捕獲・駆除0件) 専門員2人の配置	(捕獲・駆除0件) 専門員2人の配置	(捕獲・駆除0件) 専門員2人の配置	
実績		捕獲・駆除0件 専門員2人の配置	捕獲・駆除0件 専門員2人の配置	捕獲・駆除0件 専門員2人の配置	捕獲・駆除0件 専門員2人の配置		
達成状況説明	・観光地パトロールを1年間、月12回実施した。またパトロールと合わせてハチ等がいなか確認を行った。 ・村境界付近119箇所にハブ捕獲器を設置し、捕獲・駆除を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光地におけるハブの咬傷被害件数:0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		1件	0件	0件	
	進捗状況説明	今年度も観光地付近において咬傷被害が0件であり、目標は達成となった。なお、観光地におけるハブ・ハチ等への苦情は0件であった。今後も観光客が安心安全で観光できる環境を継続していく。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>捕獲については、目撃情報を基に設置場所を移動したことにより、ハブ1匹、ヒメハブ2匹、アカマタ1匹が捕獲された。</p> <p>捕獲場所においては、住宅地域、郊外関係なく捕獲されているが、重点的に対策しているエリア外での目撃や咬傷被害、捕獲情報が多々あるため、エリアを拡大して、観光地へのハブ等の危険生物が侵入するのを防ぐ必要がある。</p>	<p>公共工事や地域清掃などにより区画の整備が行われるとハブ等の目撃情報があるため、情報収集に努め、適宜パトロールや捕獲器設置エリアを見直し、効果的に捕獲・駆除ができるよう取り組む。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>今後も目撃情報を元にパトロールや捕獲器設置エリアを適宜見直し、効果的に捕獲し継続的に駆除することにより、拡散防止・人体被害を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生の安心・安全確保につなげる。</p>		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・作業員は、村広報などにより応募し、村内の地形等を熟知している方を選定しており、妥当である。</p> <p>・予算規模は、村の予算編成資料(会計年度任用職員報酬月額表)により積算しており、適正な規模であったと考える。</p> <p>・費目・用途は事業目的に即しており、消耗品も必要最小限のもので、妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 宜野座村企業誘致推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(3)-ア 情報通信関連産業の立地促進		
	担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(2)
事業内容	企業の誘致を図るため、県外ITイベントにおけるブース出展や情報系企業の招聘セミナーを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度 (年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	17,462.00	14,160	14,081	14,795	13,519
		(b) 予算現額	17,457.00	14,160	14,081	11,495	13,519
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5	0	0	▲ 3,300	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	17,457	14,160	14,081	11,495	13,519
		B. 執行済額	17,457.00	14,160.00	14,081.00	11,495	13,519
		うち交付金充当額	13,965.00	11,328.00	11,264.00	9,196	10,815
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	招聘セミナーの実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	企業誘致ブースの出展	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明		・県内外のIT関連の企業を対象として、令和3年11月に本村への招聘セミナーを実施した結果、11社18名を本村へ招聘することが出来ました。 ・令和3年10月の「日経×TECH EXPO 2021」へブース出展を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントの縮小、オンライン化による来場者数減が見込まれたことから出展を見送りました。しかし、関西でのイベント「第6回 Japan IT Week【関西】」へ沖縄県と共同でブースを出展した結果、例年と比べ来場者数が少なかったが、43名の方と名刺交換が出来ました。また、余剰時間を利用して来場者や出展社の方と意見交換を行い、今後の企業誘致に関して意見交換や施設PRが出来ました。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	招聘セミナーの参加者数	目標	()	(20名)	(30名)	(20名)	()
		実績	/	32名	9名	18名	/
	企業誘致ブース来場者数	目標	()	(200名)	(200名)	(250名)	()
		実績	/	200名	6名	43名	/
	進捗状況説明		・招聘セミナーについては、コロナ禍での通常開催(10社/20名)を目標に実施しましたがコロナの影響により辞退者もおりましたが、関東や中京からの参加者に加え、県内からも初の参加者を獲得出来ました。(11社/18名) ・企業誘致ブースにつきましてもコロナ禍での開催となり、現地での来場者が例年と比べ非常に少ない中で名刺交換・意見交換を行いました。今回、出展社情報にも力を入れ、アクセスいただいた方々へ施設のPRが出来ました。 ・新オフィスエリア供用開始に伴い、内覧会及び視察、トライアルを行い、内覧会10名、視察23件、トライアル2件の受入実績となりました。				

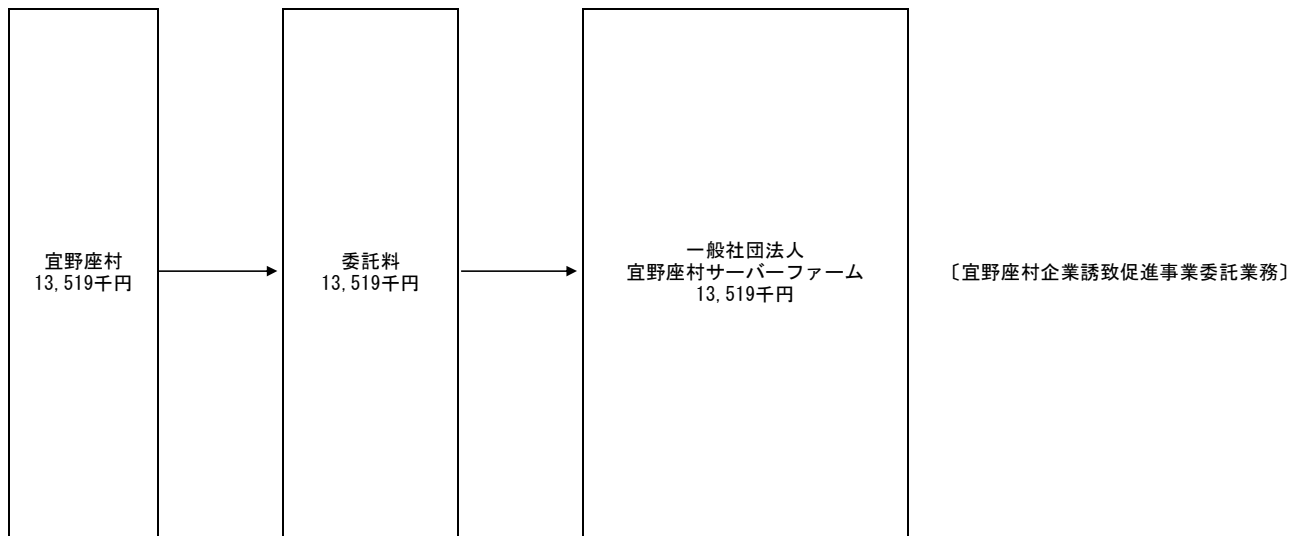
	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・招聘セミナー参加者数、企業誘致ブース来場者数ともに新型コロナウイルスの影響により達成することが出来なかったが、企業訪問や施設視察を積極的に行い、令和3年度は1社の進出がありました。 ・令和2年度より企業支援、人材確保のためWEB面接システムを導入しており、WEB面接だけでなく、オンラインミーティングなどの利用の幅を広げ、引き続き継続していきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村への進出企業獲得へ向けて、更なる広報普及活動を実施していきます。 ・スモールオフィスが令和3年10月より供用開始となり、内覧会及び視察、立地トライアルなどを行い、事業拡大を含め10室中3室が入居となったことを受け、更に力を入れてPRを行っていきます。

今後の取り組み方針

- ・本事業による接触企業に対するフォローアップ営業を強化する。
- ・WEB面接システムを活用することで県内外の優秀な人材確保を図るとともに、通勤の利便性や本島内のアクセスのしやすさなど、本村の強みを活かしつつ、働き方改革やコロナ禍によるテレワーク推進の状況も踏まえた戦略的な企業誘致に取り組む。
- ・令和3年10月よりオフィスやコワーキングスペースの利用が可能となったので、利用促進のためPRを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,519	13,519	10,815	2,704	0



資金の流れ、 点検項目・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者は、本村に特化した企業立地を推進する事業所となっており、その他事業所にはないため、委託事業所は妥当であったと考えている。 ・予算規模については、人件費、旅費の費用については宜野座村嘱託職員・報酬月額表や旅費規程内であるため妥当であるとする。 ・用途については事業目的達成の観点から必要なものであるか、額の確定時（検査）において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野座村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	小中高キャリア教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-10-(イ)		
担当部課名	観光商工課	事業実施(予定)年度	令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進		
事業内容	将来的な地域での雇用のミスマッチ解消や人材確保につなげるため、村内小中高高校生へのキャリア教育や総合的な学習への支援を産学官が連携して行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		(a) 当初予算額	6,014					
		(b) 予算現額	6,014					
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	6,014	0	0	0	0	
		B. 執行済額	5,233					
		うち交付金充当額	4,186					
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)	87.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	コロナウイルス感染拡大の影響により、事業計画の変更に伴い、不用額が生じた。 会計年度任用職員の途中退職により、報酬及び期末手当の不用額が生じた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	村内3小1中1高へのキャリア教育及び総合的な学習への支援	目標	(5校)	()	()	()		
		実績	5校					
	グッジョブ連携協議会の開催	目標	(2回)	()	()	()		
		実績	2回					
	周知広報等の取組 (SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施)	目標	(6回)	()	()	()		
実績		7回						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内すべての小中高校において、キャリア教育及び総合的な学習への支援を行うことができた。 ・すべての取組において、コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、代替え案へ変更し、目標や目的を変更することなく事業を実施することができた。 ・宜野座村グッジョブ連携協議会も2回開催することができ、産学官それぞれの立場からの目指す姿や課題を共有することができた。 ・周知広報等の取組においては、予定していたパネル展はコロナウイルス感染拡大の影響により実施することができなかったが、村広報誌、保護者説明資料、SNSや動画配信を活用し、取り組むことができた。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	対象校の児童生徒に事前、事後アンケートを行い、「就業意識が高まったか(80%以上)」を含め、本事業の在り方を検証する	目標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実績		89%				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本村小中学生へ事後アンケートを実施し、「事業を通して大人になったら仕事をしたいと思いますか」の問いに対し、「仕事をしたい」と回答した生徒が89.75%となり、目標を上回った。 ・高校生への事後アンケート実施し、「将来について考えていますか」の問いに対し、「考えている、まあ考えている」と回答した生徒が86%となり、目標を上回った。 							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・現在は、総合学習の時間において、主に学校既存のプログラムへの支援を行い、地域企業とのマッチングを行っているが、関わる地域企業への連携するメリットを明確化する必要がある。</p>	<p>・学校及び地域企業の意見を取り入れたプログラムを作成する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・協力いただける企業のノウハウや課題解決等を組み込んだ年間を通したプログラムを実施することにより、学校と地域がより連携してキャリア教育を行う。 ・事前学習や各教科に地域の企業、人材が活用しやすいように、マッチングを行い、地域・社会が求める人材を総合的に考慮しプログラムを組み立てる。</p>		

資金の流れ													
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
	<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5,233</td> <td style="text-align: center;">5,233</td> <td style="text-align: center;">4,186</td> <td style="text-align: center;">1,047</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,233	5,233	4,186	1,047	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
5,233	5,233	4,186	1,047	0									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-left: 20px;"> 宜野座村 5,233千円 </div>	<div style="margin-left: 20px;"> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">報酬 3,626</td> <td rowspan="3" style="border: none; padding-left: 10px;">} → (会計年度任用職員 2名 キャリア教育支援員)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">共済費 770</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">期末手当 590</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">費用弁償 6</td> <td style="border: none; padding-left: 10px;">} (会計年度任用職員 1名 キャリア教育支援員)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">報酬 11</td> <td style="border: none; padding-left: 10px;">} (宜野座村グッジョブ連携協議会 会員報酬 5,500円×2人)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">需用費 97</td> <td style="border: none; padding-left: 10px;">} (ファイル、ペン、コロナウイルス対策消耗品等)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">報償費 133</td> <td style="border: none; padding-left: 10px;">} (講師謝礼 15,000円×3名=45,000円 11,000円×8名=88,000円)</td> </tr> </table> </div>	報酬 3,626	} → (会計年度任用職員 2名 キャリア教育支援員)	共済費 770	期末手当 590	費用弁償 6	} (会計年度任用職員 1名 キャリア教育支援員)	報酬 11	} (宜野座村グッジョブ連携協議会 会員報酬 5,500円×2人)	需用費 97	} (ファイル、ペン、コロナウイルス対策消耗品等)	報償費 133	} (講師謝礼 15,000円×3名=45,000円 11,000円×8名=88,000円)
報酬 3,626	} → (会計年度任用職員 2名 キャリア教育支援員)												
共済費 770													
期末手当 590													
費用弁償 6	} (会計年度任用職員 1名 キャリア教育支援員)												
報酬 11	} (宜野座村グッジョブ連携協議会 会員報酬 5,500円×2人)												
需用費 97	} (ファイル、ペン、コロナウイルス対策消耗品等)												
報償費 133	} (講師謝礼 15,000円×3名=45,000円 11,000円×8名=88,000円)												
資金の流し、点検項目	評価に関する説明												
○	支出先の選定方法は妥当か。	・キャリア教育支援員は、書類選考及び面接により選定しており、妥当であるとする。											
○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・予算規模は事業内容にあった適正な規模であった。											
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・会員報酬や講師謝礼の金額については、それぞれの規定に基づいて積算しており、適正な規模であった。											
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途は事業目的に即しており、消耗品も必要最小限のもので妥当であったとする。											